

繋げよう！岬の梨産地を次世代へ

～安定的な担い手確保と産地の維持拡大に向けて～

夷隅農業事務所改良普及課 令和6年9月13日発

一宮・岬梨組合岬支部では、生産者の高齢化等により、生産量の減少など産地の縮小が続いています。一方で、近年新規参入者や後継者の就農が相次いでおり、新しい担い手の確保が進んでいる産地でもあります。そこで岬支部では、令和4年度より今後の産地を担う若手生産者、各地区の中心生産者や関係機関が集い、今後の岬梨産地について討議・検討する「岬梨産地を考える会」を開催しています。8月23日の会議には17名の参加がありました。参加者からは、今後の産地維持に必要なことや足りないこと、経営上の悩みや改善点など様々な意見が挙がり、産地の将来を考えるきっかけとなりました。

今後も夷隅農業事務所では、産地維持に向けた話し合いを継続することで、将来的な岬梨産地の目指すビジョンを、生産者・関係機関一丸となり策定するとともに、新規就農者の育成・支援を通じた梨産地の維持・発展を目指し、取組を進めていきます。



産地のこれからについて、皆で意見交換をしました。



各々が考える課題について、グルーピングし共有しました。